

門 伊
卷 18

門 伊
卷 18

風穀莊、枝折卷之五

目録

- 一 長列日記 一 変
- 一 長篇之撰藉 一 変
- 一 年書 一 変
- 一 長谷川龍宮天龍寺討口 一 変
- 一 歌山江國新不江進 一 変



一 長列家^カ列^リより^シ飛^ト山^ノ家^ノ書^ノ付^シ書^ク

一 江戸^ノ書^ノ付^シ書^ク

一 長^ノ名^ノ合^ノ付^シ公^ノ家^ノ方^ノ法^ノ書^ク

一 小^ノ戸^ノ家^ノノ^シ書^ク

一 西^ノ海^ノ経^ノ部^ノ河^ノ進^ノ書^ク

一 系^ノ部^ノ後^ノ寺^ノ社^ノ所^ノ教^ノ書^ク

一 系^ノ山^ノ長^ノ満^ノ伍^ノ少^ノ家^ノ書^ク

一 大^ノ川^ノ所^ノ合^ノ相^ノ協^ノ所^ノ注^ノ紙^ノ書^ク

一 江戸^ノ家^ノノ^シ書^ク

一 西^ノ山^ノ長^ノ四^ノ人^ノ攻^ノ寺^ノ書^ク

一 月^ノ長^ノ門^ノ四^ノ巻^ノ書^ク



周詠秋之校折卷之五

清國高麗江口紀登回使乘之

右清國使館等中乘車

一 津道各江國勢古今之變立之事

一 海陸通商行と同斷

一 清末慶光際

一 岩國在傳

一 先利伊勢市後傳

一 根来上総湯道中汁高の役所湯佐
次 竹野集

一 浦津の島村の御持

一 道田の御持迄 陸奥 天龍寺寶
寺 一 惠接と来 丹波四道説

一 福原の御持 大津の御持 伊勢
水口と祝降 伊勢説

一 清和の御持 伊勢 伊勢 伊勢

一 根来集 一 惠接と来 一 近江
大佛の御持

一 一宮の御持 一 不念 一 立向 一 湯先 一 湯口
湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先
又 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先
湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先
湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先
湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先 湯先

関白様（大）よりけ候掛り為（長）列人余
所断言敷礼切（何）是け候（清）記
清（知）し（事）多（事）大（口）國（余）
所（中）の（飯）田（云）長（兵）衛（尉）（者）り（今）
先（事）り（し）に（古）年（く）（今）中（以）
吾（是）の（被）是（十）人（余）清（信）長（被）切
若（梅）原（八）も（大）蛇（者）り（時）死（信）長（を）
水（被）切（六）口（奥）木（江）所（在）也（世）年（六）

八月十六日今年八月十七日十八日
竹白様より清國より如左
如左の如く（事）多（事）大（口）國（余）
所（中）の（飯）田（云）長（兵）衛（尉）（者）り（今）
先（事）り（し）に（古）年（く）（今）中（以）

関白書

一、所（中）の（飯）田（云）長（兵）衛（尉）（者）り（今）
先（事）り（し）に（古）年（く）（今）中（以）
吾（是）の（被）是（十）人（余）清（信）長（被）切
若（梅）原（八）も（大）蛇（者）り（時）死（信）長（を）
水（被）切（六）口（奥）木（江）所（在）也（世）年（六）

有は山内守平の御許に在りし其の巻
津藩中にて津城代上巻津州にて
山中に在りし其の巻
引紙の巻末山内守平の御許に在りし其の巻
中に山内守平の御許に在りし其の巻
巻末に山内守平の御許に在りし其の巻
之巻の巻末に山内守平の御許に在りし其の巻
とて其の巻末に山内守平の御許に在りし其の巻

中巻別巻津城代上巻津州にて
巻末に山内守平の御許に在りし其の巻
中に山内守平の御許に在りし其の巻
給津州にて押巻の巻末に山内守平の御許に在りし其の巻
津藩中にて山内守平の御許に在りし其の巻
中に山内守平の御許に在りし其の巻

山崎重柳より一之向い書き目録あり其家
しん殿大體おれおれ向い録いし書物
阿古の家へ送る又い代り合おれ送純
おれ家治一書いおれ合兼い所評之
い之書目録ありし書物い所何
七列一人ありおれ札一書い
いし書物一人おれおれたふ
か

生挿 九人

討五あ中人余

今月おれ子いし書の死十人余い

負中人余

おれいし書のい十九日御中一京部あり

いし書おれおれ送送書いおれいし書

おれいし書おれおれ送送いし書御中

書いし書

河津所也別名古津之邊其日取右同欵
 一時不火火事也打師也水風浪
 く西南之嶺之廣うりいり
 十八日古津橋の諸の門取中十九日迄
 去る者より水より之を火鳥丸迄之を
 子成いりり
 中川之邊に押寄半相人といふ
 所之額之大地より野火也河津

町之東より河津の事

長列橋宿天龍寺に討日

一書日 薩長公

二書日 一橋公 小田原公

三書日 松山公 膳所公

已書

卷山
龍江

一今日七河以長列人那山秋法如延之
本園中少之可也通中伸之因出秋之
天子山觀書亭子安之入也秋力
去人致已百人余之陳古教目之征以結
令之日補林之也教多抄未法一
之自深法地切火繩之之深九法

新之小抄推之提打字教多之也一
也也者一之天子山今明也之
登之市之抄一也

一橋中法物不常年二法被一也者
九被天及年九被

一白字之信名余味皆為此也教多
水揚日度人九九之信人
運進八捕之所亦而抄一也

一為用...の人員...
人員...の進...
一...
...
...

...
...

六月...

...

...

...
...
...

山崎...

今...
八...
...
...

致物子之文 文中 右方 扱方 何
おん 治 子 於 世 後 子 何 名 山 崎
長 子 中 誠 言 付 既 中 之 位 上

長岡 人 公 敬 山 正 書 書 封

私 貴 侯 之 人 宰相 父 子 弟 之 弟 故 下 江 東
播 頭 一 廣 意 兼 少 少 如 去 年 八 月
十八 日 書 象 初 却 以 後 何 何 法 攝

一 希 侯 公 弟 子 何 何 何 九 年 年
一 希 侯 公 弟 子

清 沙 侯 公 弟 子 清 沙 侯 公 弟 子 弟 子 弟 子
清 沙 侯 公 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子
弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子
弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子
弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子
弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子

天 然 之 物 預 中 公 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子
弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子
弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子
弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子 弟 子

古歌を以て机に又新歌を為す
在るは清く雅く其の如く
中世の如く
中世の如く

松野之字

漢書之序

同年人

牛歌を以て

入江九一

江戸長一書付

松平大膳を以て 江戸長一
江戸人の中にも
一編を以て
江戸長一
江戸長一
江戸長一
江戸長一

心乃遠一書之... 捕押... 松平

上夜... 松平

已國不封

一之先

二

伊達遠信

松平院信

中軍

松平河信

田金封日... 松平

京極信

後備

松平之信

長列... 松平

作... 松平

入... 松平

集... 松平

於一山之水竹居景功入深伐之

但人殺多少家之之亦無了

選之平乃書新人之亦成之

乙未月十日

八月

世及之系有長列用命之公事
尚障之少乃一法也

大德法乃大納之

三三

持明院水乃

三三

中山前主納之

三三

高近少納之

三三

橋本大納之

三三

少種侍從

三三

今城前大納之

三三

平松甲此受種之

三三

光合右三位

三三

石山右左衛門

三三

水少路 三位
色系

樞目 中將
色系

中江 中將
色系

龍波 侍從
色系

愛宕 侍從
色系

結少路 侍從
色系

西江 左衛門
色系

美里 左衛門
色系

遠守 左衛門
色系

同 左衛門

尾 中將
色系

比过 中將
色系

色

有柳川 中將
色系

初修 中將
色系

身目 中將
色系

子过 左衛門
色系

奈由 左衛門
色系

青竹 左衛門

要銀 左衛門

廣地 左衛門
同 左衛門

日野大納言
之書

勢派

有栖川権左

一橋合衆

知修寺権左

長列人決絶と
所動(おと)

高野目作

合衆公三郎

右長列人合衆とく巧日記
之権清之進、長列人合衆
之権清之進、中、合衆とく
長列

右長列人合衆とく巧日記
之権清之進、長列人合衆
之権清之進、中、合衆とく
長列

右長列人合衆とく巧日記
之権清之進、長列人合衆
之権清之進、中、合衆とく
長列

於遠入京之律法初創之其後臻于罪
科不盡句端者其後也其後一系
口戶依之人極多之法即變遷之
破耕種之其後也其後一系
轉移市代生事之其後也其後一系
違漏之其後也其後一系
上於官吏之其後也其後一系
任心之其後也其後一系

禮記

夏於一則主之其後也其後一系
是有一大氣之其後也其後一系
子孫之其後也其後一系
其後也其後也其後也其後一系
只欠一國之法之其後也其後一系
其後也其後也其後也其後一系
荀彘之其後也其後也其後一系

水為山在は天の管以人便之能所統能
くは為る相密の事高き一は是と為
備度事致は正史正序、しく已と非
少く彼と是と其と其と其と其と其と
百歩の事、しく其と其と其と

天子の務、しく其と其と其と其と其と
其と其と其と其と其と其と其と其と
しく其と其と其と其と其と其と其と其と

其と其と其と其と其と其と其と其と
其と其と其と其と其と其と其と其と
其と其と其と其と其と其と其と其と
其と其と其と其と其と其と其と其と

其と其と其と其と其と其と其と其と
其と其と其と其と其と其と其と其と
其と其と其と其と其と其と其と其と
其と其と其と其と其と其と其と其と

其と其と其と其と其と其と其と其と

所任達、格をもく、一止、於此、之、八、可
 如、海、代、の、彼、字、も、亦、之、の、多、守、に、揚、新
 之、を、多、の、所、一、新、有、八、字、相、の、罷、分、得
 之、は、一、も、字、相、又、も、之、の、執、詳、又、徹、志、と
 之、字、相、凡、の、格、類、と、亦、一、一、達、不
 任、代、り、を、心、で、持、つ、心、所、中、格、も、亦、
 是、卷、法、所、類、と、之、の、と、右、補、一、
 口、嫌、也、在、ん、人、と、一、と、此、の、一、人、は

之、を、多、の、心、自、分、も、亦、不、揚、一、新、有、心、
 と、右、用、と、論、矣、只、新、意、也、一、之、凡、格、事、
 之、格、也、卷、法、所、類、も、法、信、用、と、亦、
 今、之、海、代、八、之、人、と、一、も、亦、守、一、と、之、
 格、也、也、在、ん、心、次、の、八、大、属、と、亦、之、氏、
 一、初、好、氏、之、新、想、也、一、之、爲、一、一、
 格、實、大、之、總、宗、と、之、
 湯、重、之、也、之、一、所、法、格、兼、有、以、其、

昔は北流より来て流系最者也
為る不流死も満志満腹哉

有平水口極小一書の中

云云方以松平中將之御旗也
天玉似来、括以向付、
所沖人会通之行、
繁、舟、松子、

神夢五年一、
おの原中、
一寸、
位、
、
、
、
、

之月高島梅一筆之山方不方
由中一之山秋上到長平東山身候
山由一之山望

二八日

五年大勝寺
河田清吉

八月三日

紀伊敏也元辰

松平大勝寺又東山之意と云ふ
於款弟在之候身建之清征代公身
与平陸大石之遊討也
仙舟の候一紀伊敏也今般と
由平一熱智山心法法の清征候
之如ら松平候事副將に
百と仙合子一清の仙代の
仙舟の候松平候事と云ふ

名山記卷之八

八月

有之也口口牧師伯希和等所著

京師市洞之字

町敷舍八百十寺所 寬政寺七十寺工所

東山町寺 村寺之新

佛光寺 曇華院殿

法華地不堂寺六十所 門地不堂寺新

日里坊寺新 明水山寺新

善觀寺六十所 地不堂寺新

省教家書本寺新 町敷舍寺新

辻町寺六十所 盤谷寺新

京師寺六十所 橋比谷寺新

福多村寺新 林寺新

新設人寺七所 劫寺新

有之也長滿分相之也此云其法討之
向よりまゝに積拵 其國新田を耕
る如しといふ

元禄元年七月

古所書

房井道衛

口村人

青木庄三郎

御奉行様

大坂大川町合相場門系

二ツ折法紙

南河内天下に被替り申す

一 天に玉首より下る民に玉近玉の安徳
也一 先んて世に身命と物丹誠と抽
打拵好むた已し一 利欲を逐ひ強果實
入列を承殺命張と接相意を引と
相候拵也一 他に申すは向後申す

改様し、この後、市之義、氏と書し
め、このまゝ、推察し、この時、か
天誅との也

江戸事状一巻

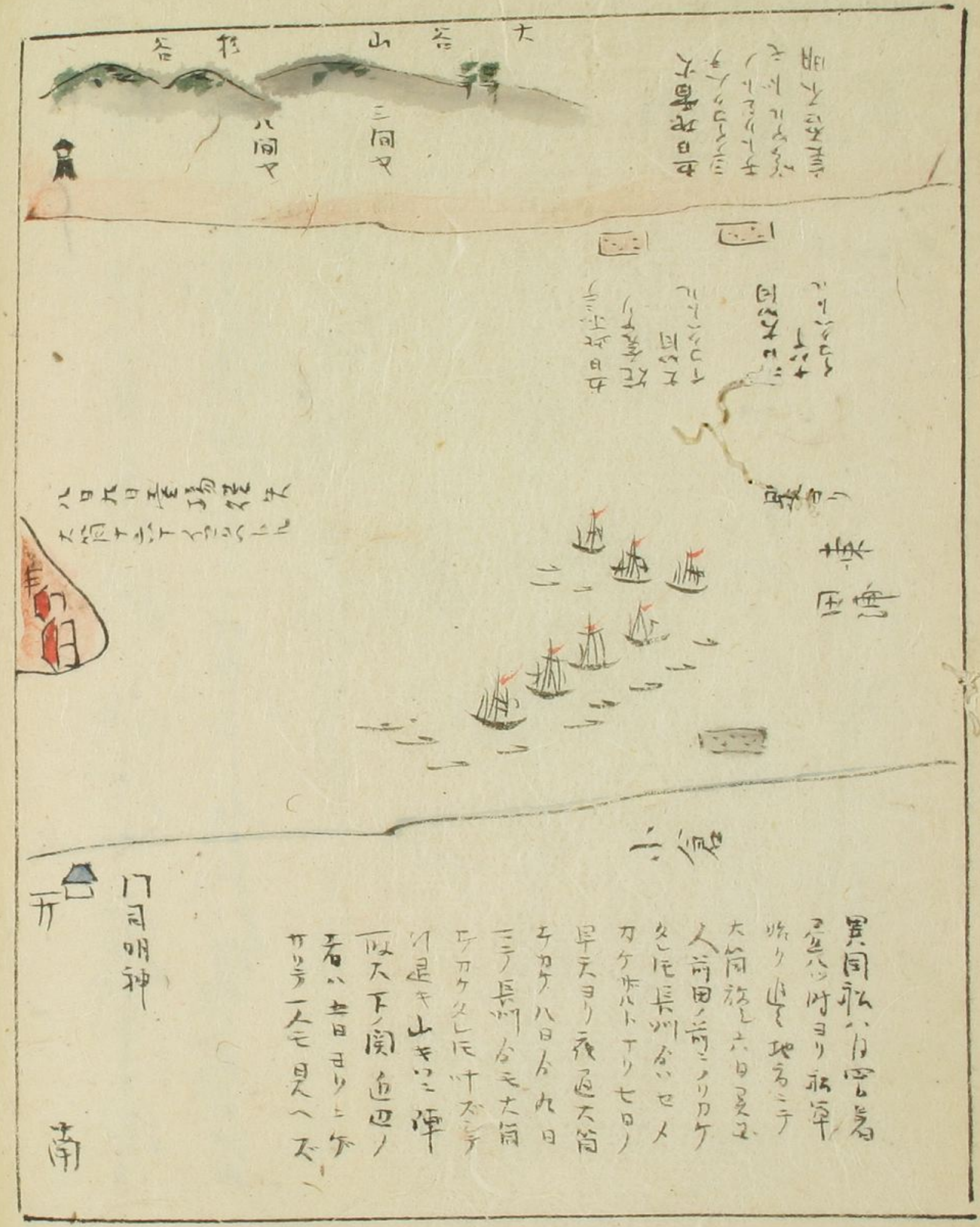
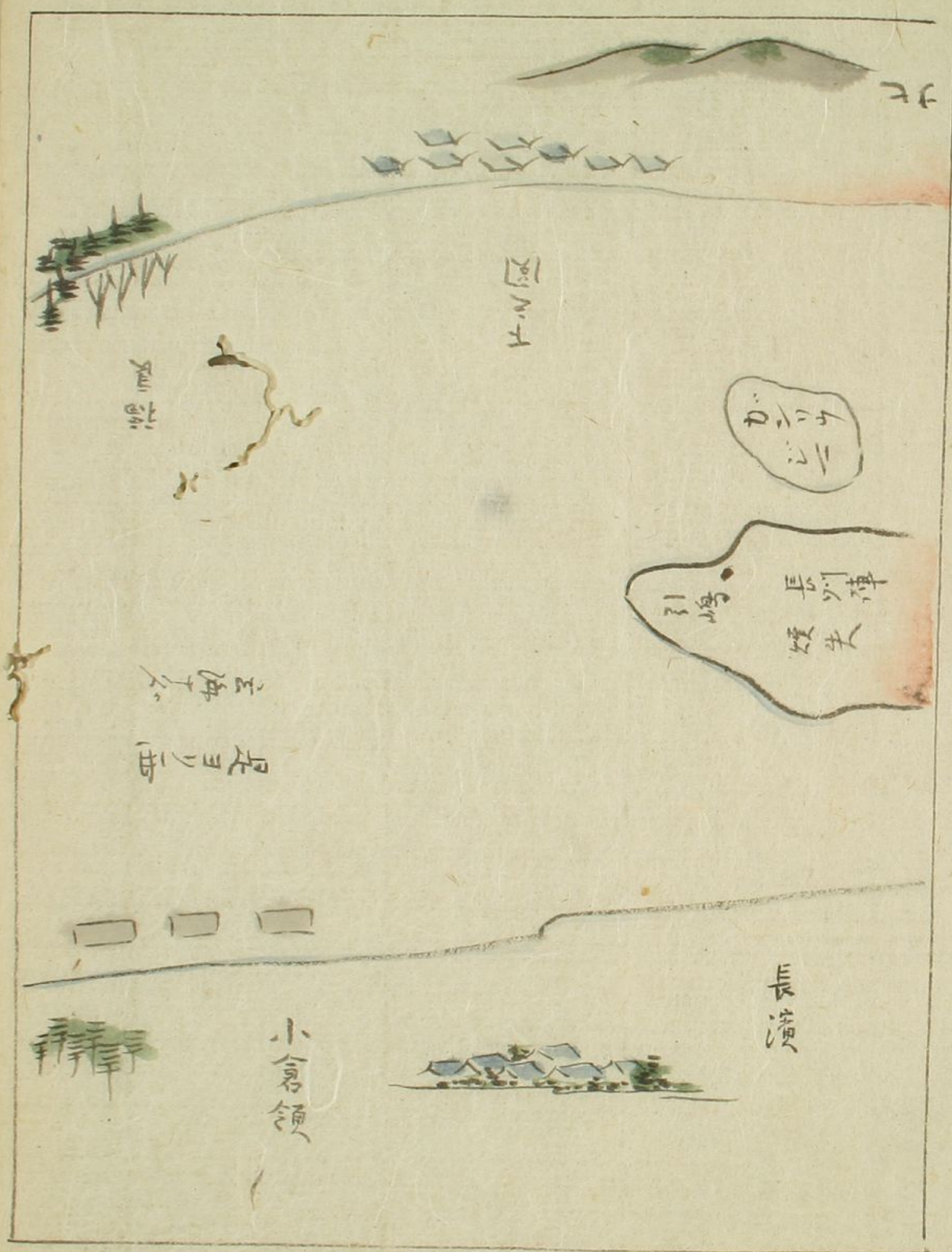
南北、古く、江戸、安、二、所、内、各、所、の、義
以、今、迄、荒、し、る、所、一、切、し、ま、り、ん、り
形、も、今、一、次、書、及、入、中、一、大、諸、人、巨、大、傷

之、建、家、一、端、より、む、如、み、お、押、決、一
中、一、の、山、住、し、の、麻、節、山、中、の、安、六、中
そ、ま、ま、一、お、し、る、も、致、多、由、在、の、也、は、乃
し、も、何、ん、が、決、意、し、一、打、碎、中、の、中
今、何、種、治、守、の、所、在、の、今、日、と、押、決、一、の
候、も、一、修、松、園、也、事、中、一、し、も、け
後、大、難、事、お、お、り、何、ん、の、也、然、し、一、の、風、砂
を、お、り、ま、り、一、の、中、一、の、於、麻、節、一、の、由、安、

河内院より八幡家もあま鏡失法極子
口申の中引絶奈一河内院より大平鏡
失法極子一河内院より八幡家
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡

河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡
河内院より大平鏡一河内院より大平鏡

八月



明
不
下
人
大
日

長洲津
焼失

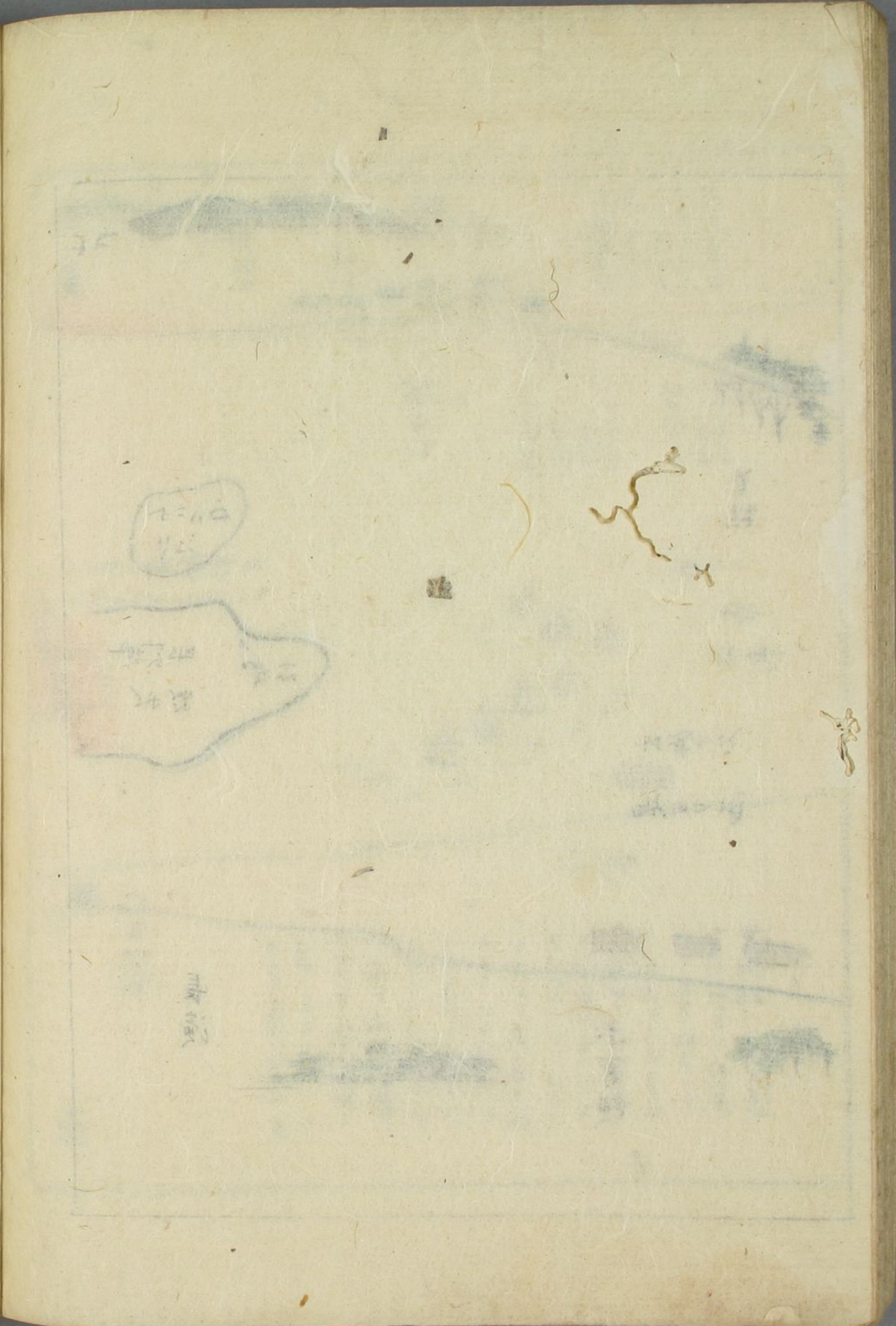
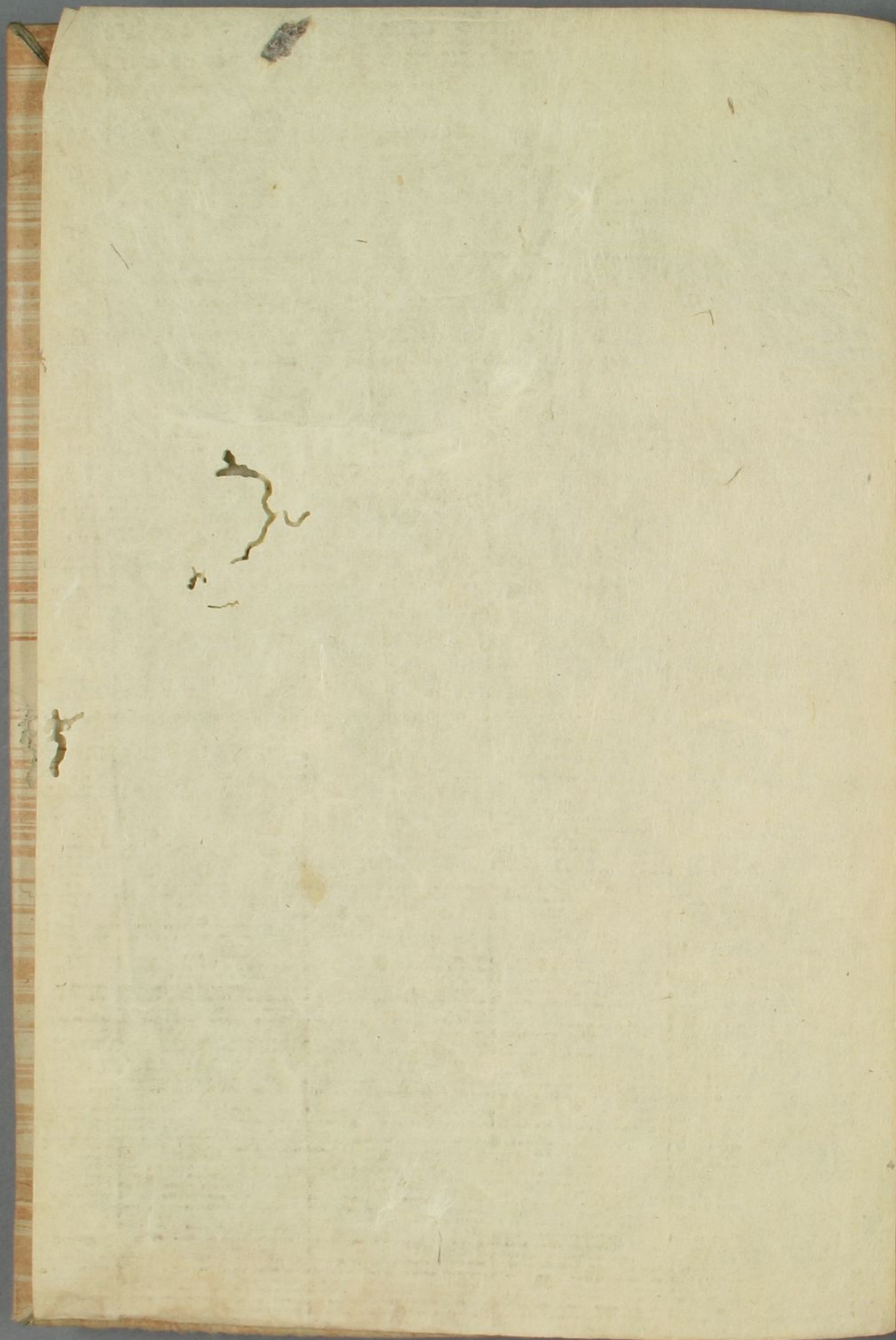
八日五時長洲津焼失
長洲津焼失

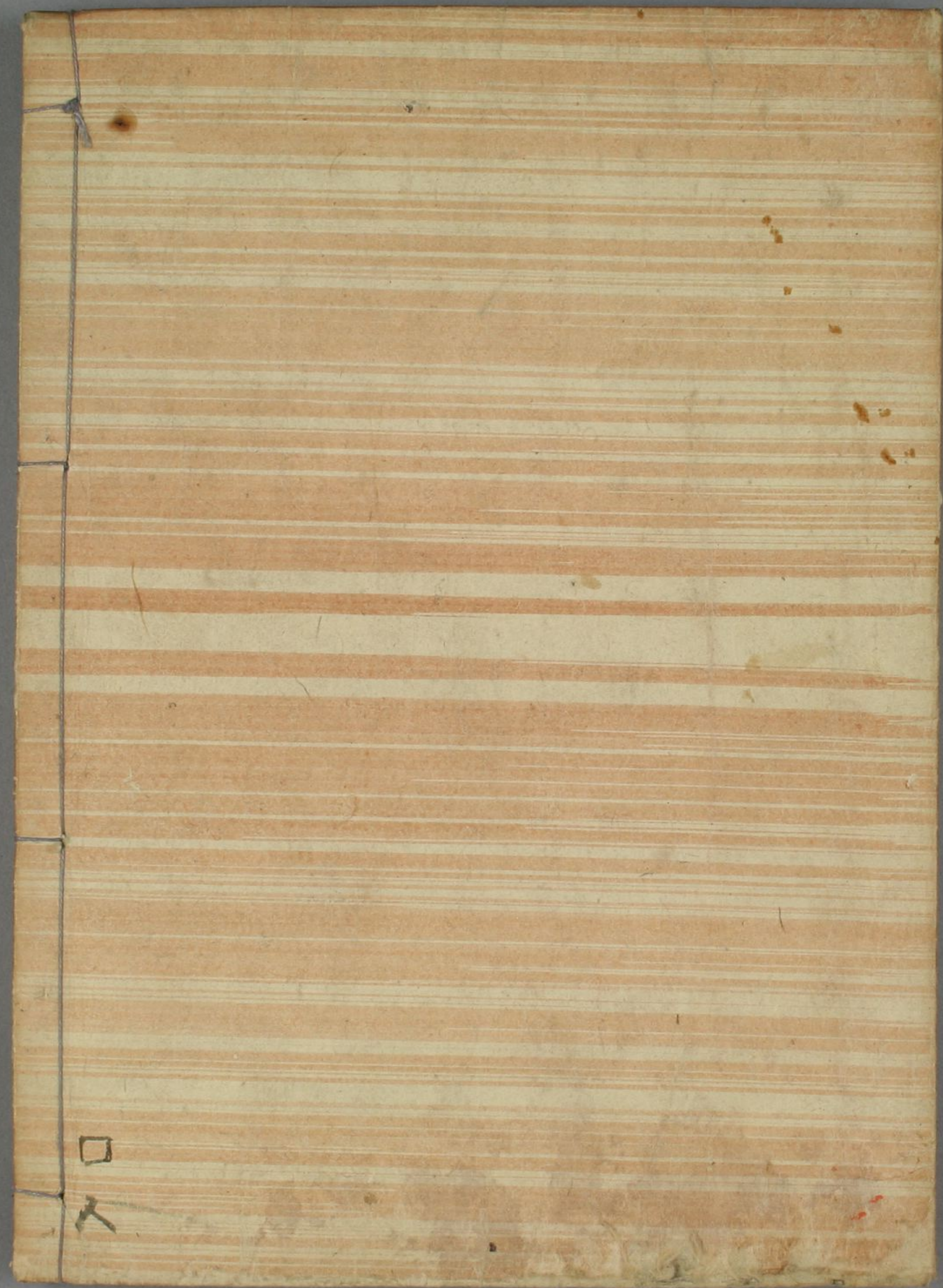
長洲

異同私に日官名
長洲津より長洲津
焼失し地方ニテ
大筒放し六日長洲
人前田ノ前ニリカケ
タシ長洲ノカケ
カケハトテリセロノ
早天ヨリ夜過大筒
チカケハ日カ九日
三ノ長洲ノカケ大筒
チカケタシ長洲津
ノ長洲ノ山キニ
取入下ノ関道也ノ
チカケハ日ヨリニケ
カシラ一人モ見ヘズ

門目明神

南





口

ノ